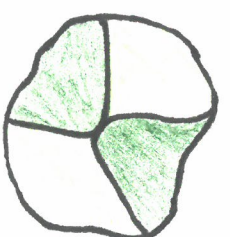
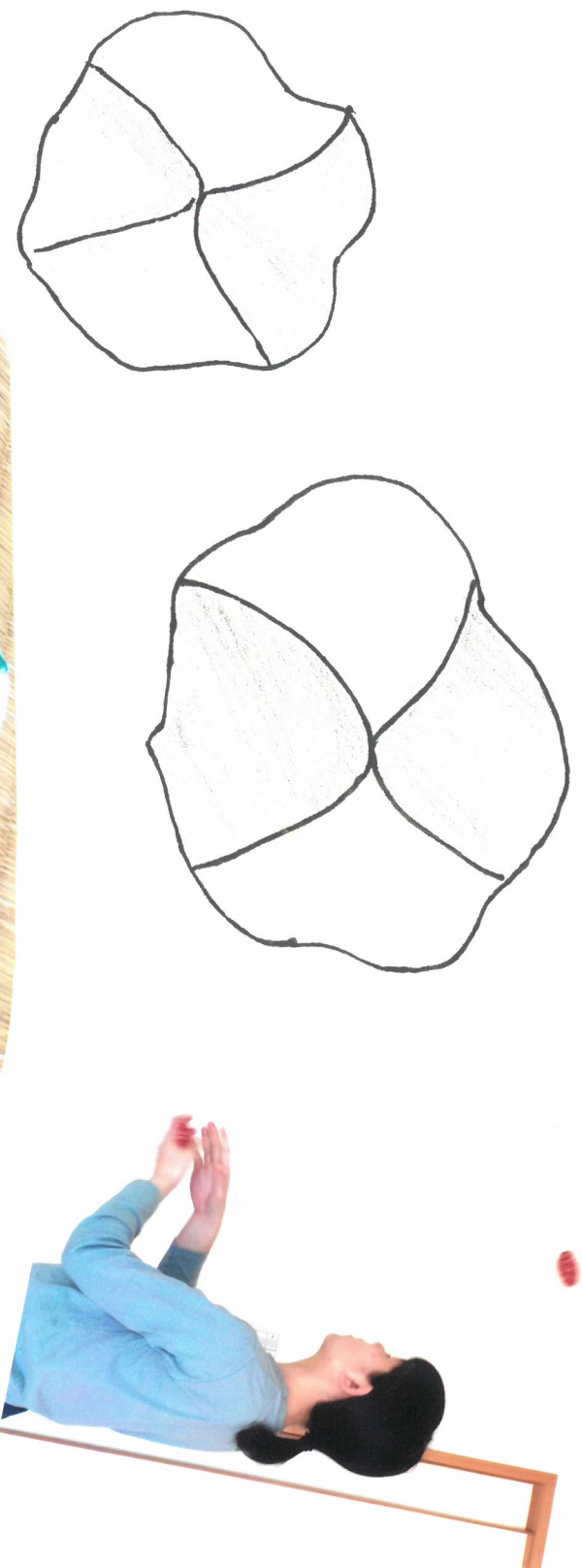


# お手玉で新居浜を元気に

～お手玉の里新居浜市～



新居浜市立泉川中学校

3年 高橋奈央



# 目次

- 1 調べようと思つたきっかけ
- 2 調べたこと
- 3 調べた方法
- 4 世界のお手玉の歴史
- 5 日本のお手玉の歴史
- 6 新居浜とお手玉
- 7 全国お手玉遊び大会
- 8 お手玉遊び市民大会
- 9 インタビュー
- 10 お手玉の効果
- 11 お手玉体験
- 12 まとめ
- 13 感想





# 1 調べたいと思っただきかけ

祖母の家にいいたとき「日本のお手玉の会」が出版している「お手玉」の写真絵本を見つけた。これをきっかけにお手玉について少し調べてみると新居浜市ではお手玉文化を広める活動がたぐいさん行われていることがわかりました。また私の通っていた小学校でも「お手玉クラブ」があったので新居浜市とお手玉の関係について深く調べたいと思いました。またお手玉が新居浜市にどんな影響をもたらしているのかを考えてみたいと思いました。

## 2 調べたこと

まずお手玉の歴史を知るために世界のお手玉の歴史と日本のお手玉の歴史を調べました。次に新居浜市とお手玉の関係について知るために日本のお手玉の会」について調べました。そしてお手玉の会が主催で新居浜市で開催されるお手玉の大会などについて調べました。

## 3 調べた方法

- お手玉に関する資料を読んで調べる。
- インターネットで「日本のお手玉の会」のホームページやお手玉大会に関する資料を調べる。
- 友達にインタビューをする。





# 4 世界のお手玉の歴史

## お手玉の誕生

世界最古のお手玉遊びは「拾い技」で紀元前5世紀頃リビア人によって発明され古代ギリシアに伝えられました。「アストラガリ」と言われています。元京都大学教授の藤本浩之輔さんによるとアストラガリには羊の距骨が使われていたそうです。

## アストラガリとは

アストラガリとは羊の距骨5個を空中に投げて手の甲で受け止め下に落ちた骨は手の甲にのっけている骨を落とさないように拾い上げるという遊びだったそうです。紀元前5世紀の古代ギリシアの歴史家ヘロドトスの著作の中で「アストラガリカリテリア人によって発明され古代ギリシア人へ伝えられた」とか書かれています。

お手玉の発祥した時代については諸説あり、紀元前5世紀ではなくアフリカの教授は4000年前としているそうです。

## 最も古い道具

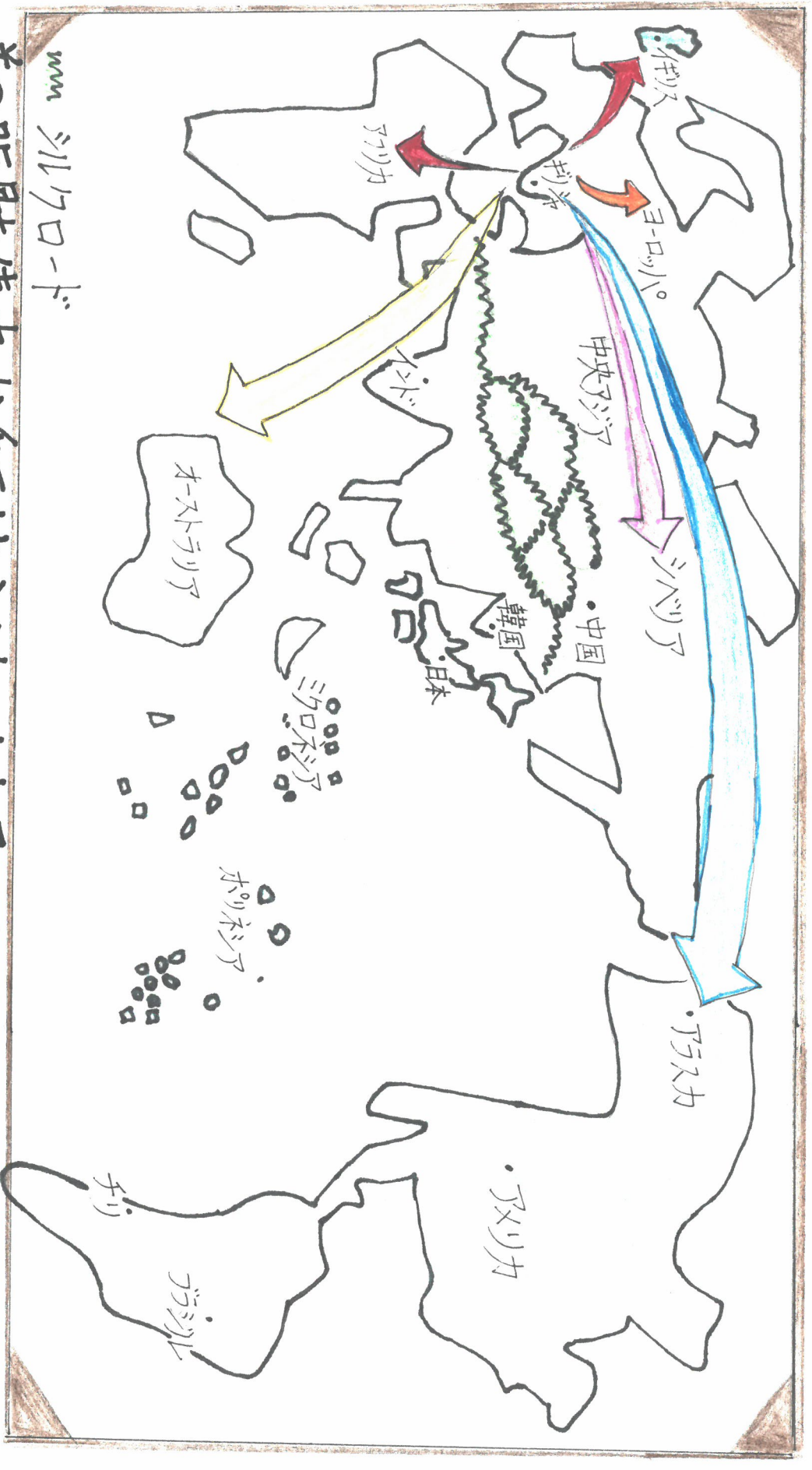
お手玉遊びに使われていたとされる羊の距骨は黒海周辺の遊牧民の遺跡から見つかっています。大きさは1個が親指より少し大きいですが、羊の距骨を使ったお手玉の痕跡は多く残っており、ヨーロッパなどの博物館で見られます。

トルコのアンカラにある「アトリア文明博物館」ではネオヒッタイト時代（紀元前1200年～700年）のお城の石壁に彫られたシリ-フの中に羊の骨でお手玉をしている場面があることが発見されました。

お手玉の遊び方は大きく分けて「振り技」（ゆり玉）と「拾い技」（よせ玉）の2つがあります。「振り技」は何個かのお手玉を手で上に投げ上げて遊ぶ方法です。「拾い技」は5個、7個など奇数のお手玉を床にまき、そのうちの1個を上に向けて上げながら残りのお手玉を寄せ集めたり手ですくったトンネルをくぐらせて遊びます。



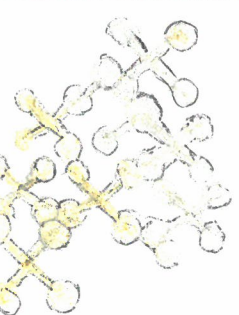


# お手玉はどのようにして世界に伝わった？



www シルクロード

羊の距離を使ったお手玉はシルクロードを通いインドや中国に伝えられました。アジアではやがて羊の距離のかわりに身近にある小石を使うようになりました。同じような遊びは東はホリネシア・ミクロネシア・日本に始まり韓国・中国・中央アジアを経て、西はヨーロッパ、オーストラリア、アフリカ、ブラジル、チリへ南はアメリカ、オーストラリア、北はアラビア、シベリアへと広がりました。道具は異なるものお手玉は世界各国で遊ばれるようになりました。

## 世界の色々なお手玉

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
| アメリカ   | フランス   | オーストラリア  | サモア  | ブラジル   |
|  <p>このような棒から4本の棒を出した金属性のシチウのボールとプラスチックのボール1個で遊ぶ。</p> |  <p>羊の足のくるぶしの骨を使っている。1個の重さは約10g。</p> |  <p>ビニール製のボールで直径7cm重さは130g。中にはバトジャットが入っている。</p> |  <p>木の皮を剥いて作られていて直径6cm重さは110g。</p> |  <p>毛糸で編んだボールのお手玉。直径5cm重さは50g。</p> |

お手玉の呼び方は国や地域によってさまざま「ヨーロッパでは「カルボンズ」アメリカでは「ダイヤモンドジャックス」オーストラリアでは「ジグリング」などたくさん名前があります。お手玉の材料も石、布、金属、プラスチックなどさまざまですがどの国のお手玉も遊び方がほとんど同じです。共通点があります。

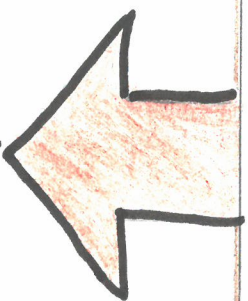


# 5 日本のお手玉の歴史

日本にお手玉が伝えられたのはいつ?

お手玉遊びは中国から日本へ「奈良時代」に伝えられました。  
 ～お手玉が日本に伝わったから～

|                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| 時代              | お手玉について   | 新居浜市の様子   |
| 奈良<br>(約1300年前) | 中国より「石投」が伝えられる。<br>身分の高い人達の間で遊ばれた。                                |   |
| 平安              | 一般の人々にも少しずつ伝わる。<br>このころの記録に「石なご」という<br>名前でお手玉遊びをしていたとかが<br>残っている。 | 809年(年)<br>神野郡 <small>かほりの</small> かいら<br>新居郡になる。                     |
| 江戸<br>(後半)      | 布のお手玉が登場する。<br>遊び方も「合い技」から体を<br>リズムカに動かす「張り技」が多<br>くなる。           | 1691年・別子銅山が<br>閉坑する。<br>1704年・多喜浜塩田の<br>開坑が始まる。                       |
| 江戸(終わり)<br>～明治  | ギョギョん型のお手玉が全国に<br>広がる。「石投」が姿を消していく。                               | 1889年・新居浜が3の村になる。<br>1894年・別子銅山で植林<br>事業が始まる。<br>1908年・新居浜村から新居浜町になる。 |
| 昭和              | テレビが普及したことでより<br>子供の遊び環境も変化し<br>お手玉が次第に忘れられていく。                   | 1959年・多喜浜塩田が<br>閉じられる。<br>1973年・別子銅山が閉山<br>する。                        |


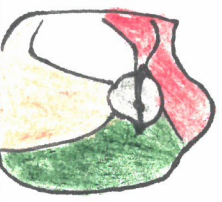
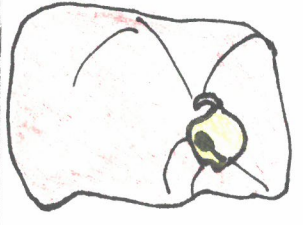
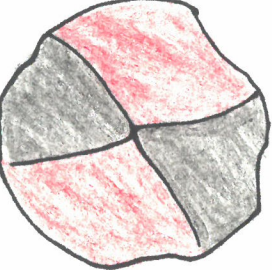


現在へ





# 日本のお手玉の姿の変化

|                             |  |  |   |
|-----------------------------|--|--|---|
| <p>奈良(時代) 石名取玉」<br/>～平安</p> | <p>「石名取玉」<br/>「火取水取玉」</p>  | <p>「石名取玉」は聖徳太子<br/>が使たとされる。<br/>平安時代には一般に<br/>広がっていた。</p>                                      | <p>水晶でできていた。</p>  |
| <p>江戸</p>                   | <p>「かます型」<br/></p>  | <p>米や麦、水などの<br/>穀物はかますへ。<br/>そこで<u>豊作祝</u>いを<br/>かねてかます型のお手玉<br/>が作られたとされる。</p>                | <p>お手玉の中には粟や水<br/>大豆などが入っている。</p>   |
| <p>江戸</p>                   | <p>「俵型」<br/></p>    | <p>主食の米を入れる<br/>俵をかたどったもの。</p>   | <p>お手玉の中には大豆<br/>やじゃぶ玉の実が入って<br/>いる。</p>  |
| <p>江戸(終わり)<br/>～明治</p>      | <p>「枕型」<br/></p>    | <p>枕が布でぐらわれるよう<br/>になつた影響で登場<br/>したとされている。</p>   | <p>枕の中はそばがらだったが<br/>お手玉の中はそばの実や<br/>ひの葉がそのまま入られ<br/>た。また沖繩や沿岸の地域<br/>で浜辺の小石や貝から、<br/>あずきを入れるようになった<br/>ものも出現。</p> |
| <p>江戸(終わり)<br/>～明治</p>      | <p>「ギョウギ人型」<br/></p> | <p>着物などの端切れを<br/>4枚はぎ合わせて作った<br/>このお手玉は色とりか<br/>ちにしてゆりあげても<br/>寄せもすわりが安定して<br/>いるため全国に広がる。</p> | <p>あずきといっしょに鈴を<br/>入れたり足袋のこぼせ<br/>を入れるようになった。</p>   |
| <p>大正</p>                   |  |  |   |

## お手玉の呼び方の違い

- お手玉 (全国)
- じゃぶ玉 (全国)
- おじゃみ (全国)
- おおびと (東北)
- てんちゃん (東北)
- おやこ (秋田)
- すずめこ (長野)
- おびこ (長野 飯綱)
- 石なんこ (兵庫 堰町)
- おおじゃみ (東北 高知)
- 石なべ (沖繩)



## 聖徳太子も使ったお手玉？！

日本にはなんと奈良時代のお手玉が残っています。それは法隆寺の宝物で「石名取玉」というものです。これは立方体に仕上げた水晶の玉が16個保管されています。この水晶は聖徳太子が幼少の時お手玉がに使ったものではないかといわれています。

石名取玉については「法隆寺献納宝物」に「法隆寺の宝物にいなりの玉あり」と書かれています。同じ奈良時代のもので「火取水取玉」というものもあります。これは水晶と琥珀でできています。

## 日本で最初のお手玉石投とは

石投は石を数個下に置き、一つを高く放り上げて落ちてこないうちに置いた石を拾って落下してきた石を受けて遊びます。「倭名類聚抄」に球を空中に投げる遊びだ、たこが記録されています。また平安時代西行法師の歌ったものに「いなの玉の落ちるほどなせに」週る月日はかほやはする」というものがあり「聞書集」にかかれています。このことからお手玉が平安時代にシブザー一般の人々に伝わったことがわかります。現在「石投」遊びが残っているのは兵庫県大屋町だけです。（大屋町では石なんじとよんでいます）

## 歌川広重の作品にお手玉？

歌川広重の作品に「風流おさかな遊び」というものがあります。これは「男の子版」と「女の子版」があり、女の子版の方に上にあげたお手玉を見せながら寄せ玉遊びをする「お手玉」の絵が描かれています。

お手玉は私も使った歴史あるおのなのですよ。ちなみに皇室で最初に与えられるおもちの一つにお手玉が入っています。お手玉は時代ごとに形を少しずつ変えてきたおのの人に愛されている現在の姿になっています。



聖徳太子



# お手玉の歴史を調べたこと

- お手玉は羊の距骨を使ったストラガリから少しずつ形が変わっていき、今では世界各国で親しまれている。
- 日本にお手玉が伝えられたのは奈良時代に中国から伝えられた。
- お手玉の形お中身は様々で呼び方も地域によって異なっていた。
- 昔の遺跡や書物などにお手玉が記録されていることから古くから伝わるお手玉の歴史を感じた。

歴史あるお手玉がなぜ  
新居浜の文化のーツと  
なっているのか調べていく



# 6 新居浜とお手玉

## お手玉を新居浜市から全国へ



第二次世界大戦の終わりに頃食パンもなくなりました。お手玉の中に入っている小豆や大豆、お米をお手玉をつぶして中身を食パンにしました。お手玉が普及したことが理由で、お手玉が姿を消しました。そのお手玉を平成4年に新居浜市に本部を置く「日本のお手玉の会」をつくり、全国へ再び広める活動を始めました。

## 日本のお手玉の会とは

日本のお手玉の会は平成4年に設立され本部は新居浜市にあります。現在全国各地に38の支部があります。お手玉の会では「ぬくもりを届けたい、手から心へ」という目標で活動をしています。お手玉の会の活動は日本だけでなく世界各地にも広がっています。

## 日本のお手玉の会の広がり

日本全国に「日本のお手玉の会支部」があります。現在全国各地に38の支部があります。過去には海外での活動も行われており、日本だけでなく世界にもお手玉の会の活動は広がっています。各支部の活動は資料などで紹介されています。

支部は5人で行うことができ、個人ではできない活動をしているそうです。新居浜市には「新居浜支部 新居浜お手玉の会」があります。

新居浜のある1つの団体の活動から現在では日本全国に支部が広がっていて、お手玉が海外にまで広がっていることにはとても喜びを感じていました。





## 新居浜双三倶楽部の誕生

新居浜市も1980年頃から徐々に活気を失っていき、そんな時「街を活性化させたい」と多数の市民が集まり市民ボランティアグループ「新居浜双三倶楽部」が誕生しました。倶楽部では自然・文化・生活の3つの委員会をつくり、クイズ形式で新居浜の文化や歴史などを知らせてもらう大会を開催などいろいろな活動を行っていました。

## お手玉の普及活動スタート

倶楽部では当時の社会状況から心の交流や世代間の交流が必要と考え子供たちに民話を語り、伝統ある昔遊びを教える活動を始めました。その中で一番人気があったのが「お手玉」だったので、メンバーの夫たちはお母さんからお手玉についての情報を集めるうちに「お手玉遊び」を伝えられるお母さんがいる今、お手玉の普及活動を始めたい、かと思いい活動が始まりました。

## 日本のお手玉の会の誕生

平成元年の夏頃から①珍しいお手玉の展示 ②作り方教室 ③お手玉遊び教室を出し物に老人ホームや小学校の訪問、イベントへの参加などを行いました。この間、メンバーの人からは多くのアイデアが出てきて「お手玉シボジウム」「お手玉遊び大会」、「全国組織の立ち上げ」、「情報誌の発行」などがありました。それがお手玉は世界共通の遊びということもあり、国際交流も考えるようになっていきました。平成3年10月には黒島海浜公園で「第1回新居浜お手玉遊び大会」を開催し、飛び入りを含め約150名が参加し、大好評を得ました。そして平成4年9月19日新居浜コミュニティプラザで約400名が参加し、いま、「お手玉遊びの日」をテーマに「お手玉シボジウム」が開催され、その席で「日本のお手玉の会」が誕生しました。また翌日、9月20日には山根総合体育館で「第1回全国お手玉遊び大会」が開催されました。

9月20日は「第1回全国お手玉遊び大会」が「新居浜」で開催された日のため「お手玉の日」とされています。  
「日本のお手玉の会」ではこの日は「お手玉をPRする日」とされています。

新居浜市では小中学校だけでなく高等学校のクラブ活動にもお手玉遊びが取り入れられるようになりました。



## 「日本のお土産の会の活動（平成2年まで）」

### 〈国内〉

- ・ 「全国お土産バザ大会」を開催（17回）
- ・ 「全国シクリエーション大会」への参加（2回）
- ・ 「野外伝承遊バ国際大会」への参加（7回）
- ・ 「全国生涯学習フェスティバル」に参加（6回）
- ・ 「日本母親大会」に参加
- ・ 「日本PTA全国研究大会愛媛大会分科会」に参加
- ・ 「淡路花博覧会」に参加
- ・ 「神戸まつり」に参加

### 〈海外〉

- ・ ロサンゼルス「TUS-JAPAN EXPO」に参加（4回）
- ・ 「サンディエゴ民族祭」に参加
- ・ 「ザ・祭りイン・シドニー」に参加
- ・ 「イタリヤ（ボローネ）フランスお土産ビル」を訪ねるの旅
- ・ 「ホテルガール日本文化の紹介」に参加
- ・ 「ルルウェー日本文化まつり」に参加
- ・ 「ニューカレドニア日本文化祭り」に参加

## お土産の会の受賞記録

- ・ いのちづくり愛媛創造賞
- ・ いのちづくり奨励賞
- ・ 文部大臣感謝状（3回）
- ・ 美しいまちづくり賞
- ・ 第52回愛媛新聞社賞
- ・ いのちづくり賞優秀賞
- ・ 地域づくり団体自治大臣賞
- ・ 日本生活文化大賞の「生活文化賞」
- ・ 第25回サントリ-地域文化賞

平成11年3月に「サンディエゴ支部」、平成12年7月「支部サテライト」  
「オランダ・カイ」発足により海外での活動も少しずつ増えています。



## お手玉の会の活動

日本のお手玉の会の新居浜の会員の人達は各地でお手玉教室や講演会を開き参加者にお手玉を作ってもらった。各地のおもしろいお手玉を見せてそのぬくもりを伝えてきました。この活動は全国各地から注目され多くのメディアでも取り上げられました。



お手玉を実際に自分でつくってみたり、普段は見られないお手玉に触れることで参加者はお手玉の魅力を感ぜられたと思います。

## お手玉を世界中へ

お手玉の会では「お手玉」の本の監修をつとめ平成9年に出版しました。そして第3回愛媛出版文化賞を受賞しました。この約5年後平成14年に写真絵本「お手玉」の英語版「OTTE DAMA」を出版しました。この本をきっかけにしてさらにお手玉の魅力が海外へ広がっていきました。



私がお手玉について調べるきっかけとなった写真絵本「お手玉」の英語版があったことは知っていませんでした。お手玉の会はいろいろな工夫してお手玉を海外に伝えおとしたのです。

## お手玉で「町おこし」を

お手玉の会では現在「たまちゃん通信」や年1回の会報誌「おてたま」の発行、県内外で年間100回以上のほろお手玉教室を開催しています。またお手玉指導者の養成や手づくりの「国際公認規格お手玉」の製造販売なども行っています。そして「まっしんハイム」への参加以来年に1〜2回のペースで海外遠征を行っています。お手玉は外国の方々にも人気がありお手玉は新居浜と世界を結びつなげたいと思っています。

日本のお手玉の会は新居浜をお手玉のまちとしてさまざまな活動を行っています。



# 新居浜とお手玉について

- 新居浜市では街を活性化させたいと動き出した人達の手で市民ボランティアグループ「新居浜双ニテ倶楽部」が生まれました。
- 倶楽部の活動で「お手玉の普及活動を行ったことをきっかけに新居浜市に本部をおく「日本のお手玉の会」が設立された。
- 「お手玉の会」の活動は日本全国、今では海外にも広がっている。
- 「お手玉の会」は国内外の数々のイベントにも参加していて多くの賞も受賞している。
- 「お手玉の会」は「お手玉の作り方教室」などを開き新居浜をお手玉で盛り上げている。

「お手玉の会」の活動の一環としてある「全国お手玉遊び大会」と「お手玉市民大会」について詳しく調べる。



# 全国お手玉遊び大会

## 新居浜密のお手玉大会

全国お手玉遊び大会は第7回大会までに第1回～第10回、第15回～第17回の12回、本部がおかれている新居浜市で開催されています。

|      | 大会の様子や説明など  |
|------|---|
| 第1回  | 新居浜市市制55周年記念事業の一環として開催された。大会には沖繩や大阪、滋賀、東京などから参加者が集まり選手635人、入場者3000人が集まった。 |
| 第2回  | 地元の小中学生チーム、高校のお手玉クラブなど児童、生徒の参加が増加。各種競技を通じて3世代の交流が図られた。                    |
| 第5回  | 全国15都道府県に加え韓国からも選手が参加。市内在住の米国、豪州、ロシアなど6か国の人たちを含む国際色豊かな大会になった。             |
| 第6回  | 大会の模様が日本テレビ系列の「24時間テレビ」で全国中継された。暗やみの中にお手玉が光るという数字がウキビエだった。                |
| 第10回 | 10年の節目の年に当たる大会は第10回記念大会として開催された。次回から全国各地での持ち回りとなることもあり多くの人が集まった。          |
| 第15回 | 5年ぶりに新居浜で開催。新居浜市市制施行70周年記念イベント事業として開催されたこの大会のテーマは「ぬくもりを届けたい、手からじんじゅだった。」  |
| 第16回 | 日本初「寄せ玉遊び」の共演をテーマに行われた。大会では全国15の寄せ玉を紹介し海外の寄せ玉もVTRで流された。                   |
| 第17回 | 日本のお手玉の会「設立20周年」と新居浜市市制施行75周年の記念事業として開催された。                               |

第17回大会は「寄せ玉シンポジウム」がテーマで開催されました。



それにつづいて日本に古くから伝わる「お手玉文化」を残そうと新居浜の人達はいろいろな活動を行っていたのです。お手玉を通して多くの人々にぬくもりを届けたという「お手玉の会」の人達の強い気持ちがありました。



## お手玉大会では

お手玉大会では当日さまざまなイベントや活動が行われていました。

### 〈お手玉大会で行われた活動〉

- お手玉シボジウム
- お手玉競技大会
- 物産展示コーナー
- お手玉遊園地
- お手玉演舞大会
- 指導者養成講座 など

## お手玉シボジウム

大会ではさまざまなテーマでシボジウムや講演会が開かれました。

### 〈シボジウム講演会テーマ〉

- 今、なぜお手玉なの
- お手玉のロマンとその歴史性と国際性
- お手玉はヘルスマートのキレオ
- お手玉と健康
- お手玉遊びで元気！笑顔・元気・やさしいおまを広げよう
- 子どもの脳の発育と創造性の開発と「お手玉」

## 全国お手玉遊びの祭典

平成28年に「いっしょに結ぶ新しいお手玉の世界」というテーマで全国お手玉遊びの祭典が新居浜市で開催されました。会場ではお手玉は子どもの脳を救うというテーマで講演会が開かれました。子どもから高齢者までのお手玉というテーマでシボジウムが開かれました。また新しいお手玉遊びの体験交流やお手玉遊園地も開催されました。お手玉遊び競技大会では小学生も参加して盛り上がりしました。

お手玉の会ではお手玉に段位を設定しています。技の難易度があるほど段も高くなります。段位を設定することで、お手玉を競技として楽しむ楽しみも増えます。大会の会場でも段位審査を受けられることがあります。



# 8 お手玉遊の市民大会

## お手玉遊の市民大会

「お手玉遊の市民大会」は新居浜市の文化のーつ「お手玉」の魅力を全国に広めることやお手玉への理解を深め文化交流を促進することを目的として新居浜市で開催されています。

## お手玉競技

大会ではまずお手玉の競技大会が行われ団体戦、個人戦があります。小学生の部では市内の小中学校が参加してそれぞれのチームで競争します。小学校対抗団体戦競技はこの大会で始めた新たな試みで会場はとても盛り上がりました。一般の部には高専奇術部さんも参加しており若者と奇術の世代を超えた戦い、おあつても見えたえががあります。

お手玉の競技ルールはシンプルで「決められた時間の中でお手玉を落とさずより長く投げられたチームが勝ちです。」

一般の部には市外からも多くの人々が参加し、お手玉を通して幅広い世代の人々との交流が行われていました。

## 会場でのステージパフォーマンス

会場にはさまざまな活動が行われ、書道パフォーマンスやお手玉の会の会長さんや歴代会長さんの対談なども行われます。対談ではお手玉の会のお話を振り返り話が盛り上がりました。他にも新居浜少年少女合唱団、新居浜少年少女B.O.G合唱団の演奏やお手玉パフォーマンスなどがステージイベントとして行われ会場はとても盛り上がりました。

新居浜高専奇術部のジャグリングなどのパフォーマンスもありいろいろなお手玉に触れる機会も多かったです。



資料からも会場の盛り上がる様子や楽しそうな様子がい伝わってきました。



# 会場でのイベント

会場ではステージイベントの他に記念茶会が開かれ抹茶とゼンゼイが  
ふるまわれました。別子銅山の写真パネル展なども開催されました。また、お手  
作り教室も行われました。自分だけのオリジナルのお手玉を作ることでか  
けるこの教室はお手玉を作ってからウエディングのお手玉に込められた想いを感  
じながらお祝い目的で開かれています。普段はあまりない体験をすることができ  
お祝いについてさらに知ることが出来ます。そして、お手玉段位認定審査会も  
誰にも受かることができます。

全国のお手玉唄は新居浜少年少女合唱団によってCD制作されています。  
日本のお手玉の会125周年のとき新しいお手玉唄の発表も行われました。

## 近年の大会では

最近の大会ではお手玉ダンスパフォーマンスも行われ、お手玉をしながら  
ダンスをして歌もある楽しいパフォーマンスになりました。昨年度は  
新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン大会となりましたが、  
お手玉を楽しむ方たちのパフォーマンスをたくさん見ることができました。

## 市民大会の歴史

「お手玉遊び市民大会」が最初に開催されたのは平成3年です。黒島海浜  
公園で開催され多くの人が参加しました。それ以降は、市民大会は開催され  
ていません。しかし、12年後、前年から全国大会が各地で持ち回りになり、市民から  
「新居浜でお手玉大会がないのは寂しい」という声が上がって再び開催されました。  
この大会では初めてお手玉をかけたダンスの饅頭おてたまいが行われました。  
また、その翌年も開催され約300人が参加しました。そして平成29年新居浜市  
市制80周年と日本のお手玉の会設立25周年を記念して大会が開催され  
その翌年から毎年開催されています。市民大会という大会名ですが、参加者  
は市内だけでなく市外からもたくさん集まりとても盛り上がりがあります。新型コロナ  
ウイルス感染症拡大による影響で中止やオンライン大会となることもありますが、  
毎年いろいろなパフォーマンスが行われ、とても楽しい大会になります。



私も今年オンライン大会をみました。様々なパフォーマンス  
があっただけでとても楽しかったです。



# お手玉大会についてわかったこと

- 「全国お手玉遊び大会」はお手玉の会の本部がおかれている新居浜市で何度も開催され全国各地から多くの人々が集まった。
- 会場ではジホジウムなども開かれ競技だけでなく各大会それぞれいろいろなイベントも展示もされた。
- お手玉市民大会」では団体戦、個人戦に小学生から大人まで幅広い世代の人達が参加する。
- お手玉を競技として楽しむことは新鮮だよ！お手玉に親しみやすくなった。

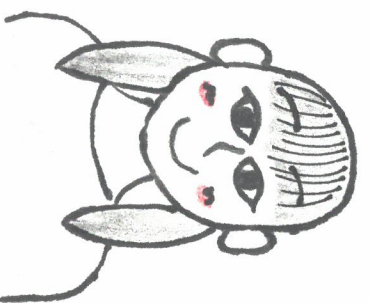
次は実際に大会に出たことが  
ある友達にインタビューしてみる



# 9 イントビュー

私はお手玉遊びが市民大会に実際に参加したことがありません。だから大会の様子をたぐため小学校のお手玉クラブに入っていて大会に出場したことがある友達にインタビューをしました。

## 〈大会に出場したことがある友達の話〉



クラブ活動や大会でお手玉を実際におこなってサてお手玉のどんなところが魅力的だと感じましたか？

お手玉は子どもから大人まで誰でも楽しめるところが魅力的だと思います。

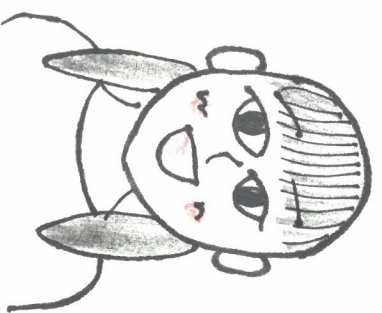


Aさん

お手玉は一人でも、みんなでも何人でも楽しめるところがいいところだと思います。



Bさん



お手玉大会に出た楽しかったことなど感想を教えてください。

お手玉には色々な技があって大会に向けて様々な技に挑戦することが楽しかったです。



Aさん

大会ではとても緊張しましたが延長戦になたとき、とても盛り上がり楽しかったです。



Bさん



たくさんお話してくださりありがとうございました。



# インタビューをしてみました

- お手玉は誰でも楽しめるから新居浜の人達にも親しまれている文化なのだと感じた。
- お手玉大会に向けて練習をしい中でお手玉の魅力を発見できお手玉をさらに好きになるきっかけとなるのだと思った。
- お手玉は幅広い世代の人々を結びたい大切な文化のオーソリティだと改めて感じた。

最後にお手玉が新居浜に  
どんなよい効果を与えているのか  
考えてみる



# 10 お手玉の効果

## お手玉の効果

お手玉お脳の活性化による老化防止やゲーム脳の解消などさまざまな良い効果があります。

### 〈お手玉の効果〉

- 判断能力の向上と反射神経の養成につながる老化や認知症の予防につながる。
- 歌いながらお手玉をする事で笑顔になり音楽療法の効果が期待できる。またストレスも解消される。
- 脳全体を使うお手玉遊びはゲーム脳の解消にもつながる。
- お手玉の作り方や遊び方をお年寄りからまよ世代まで世代を超えた交流ができる。



お手玉遊びには私達にとって良い効果がたくさんあることは知らなかったので驚きました。

## 私が考える新居浜市のお手玉効果

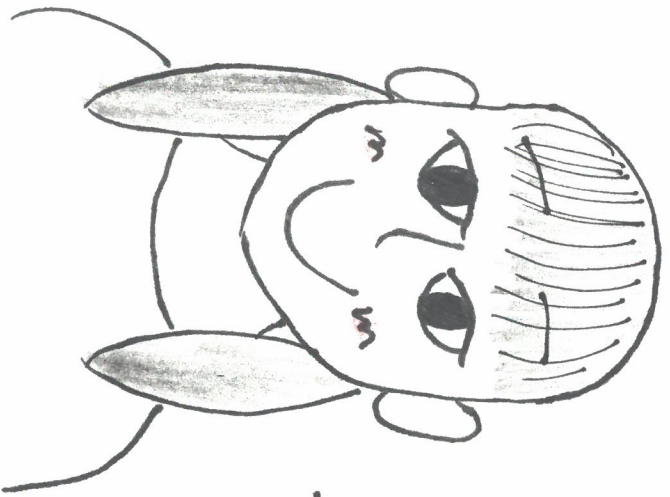
上の効果を参考に私はお手玉遊びが新居浜市にどんな効果をおたえているか考えました。

- 高齢化が進む新居浜市でお手玉遊びをすることで高齢者と子供の交流が活発になる。
- お手玉大会の開催で新居浜市の文化発展につながる日本全国との交流も行われる。
- お手玉を通して町おこしができる。



# ～お手玉文化と新居浜～

- お手玉で新居浜の地域活性化にもつながっている。
- お手玉を市民みんなが楽しんでおいて世代を超えた交流が盛んになる。
- 新居浜市の文化発展にもつながりお手玉で日本全国とつながれる。



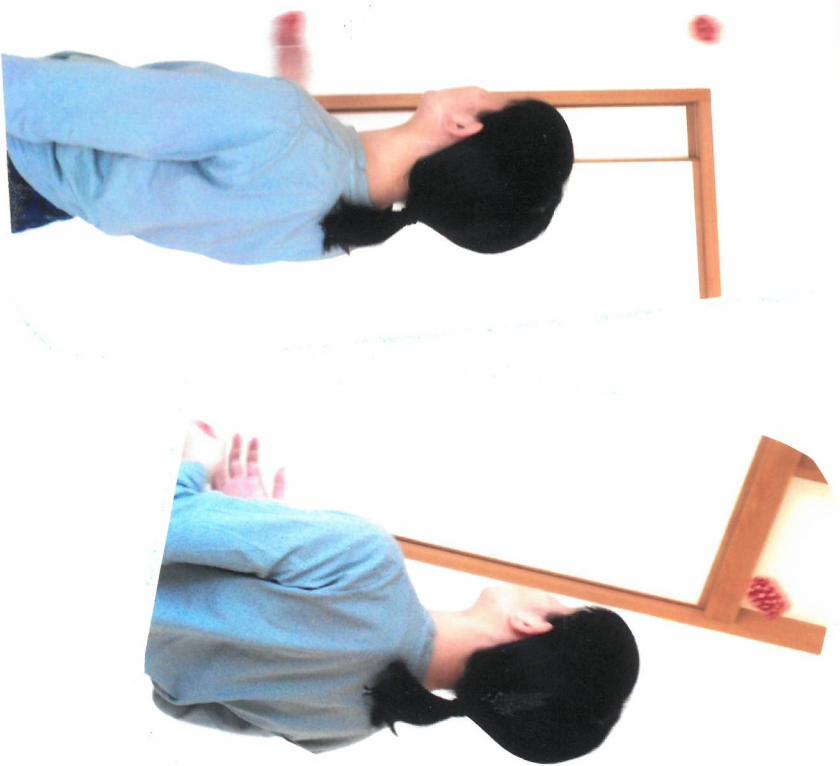
お手玉文化がこれから新居浜で多くの人に親しまれると思います。お手玉は昔からある遊びですが、今も多くの人が大切に愛用していて、ずっと伝えられていく大切な文化の一つだと感じました。



# 00 お手玉体験

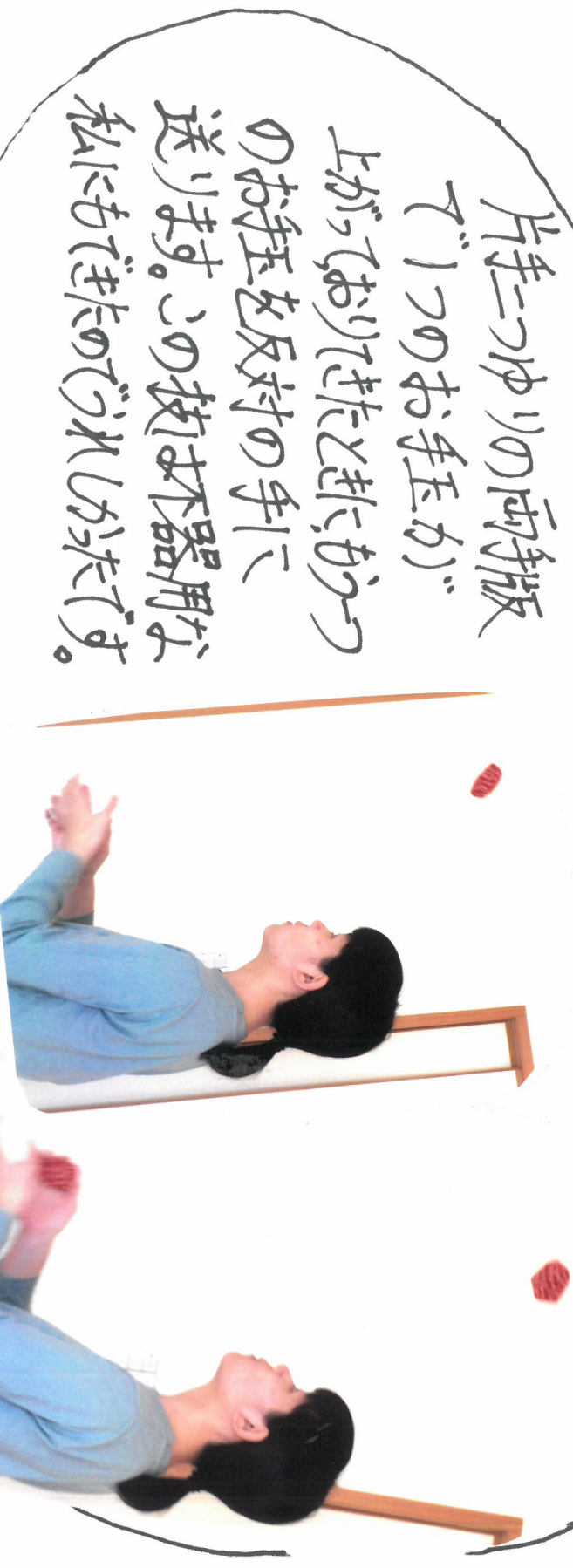
お手玉についていろいろ知ったので次は実際に私もお手玉を書ってみました。本にのっているそれそのものの技のやり方を見ながらやりました。

## 片手ニツクリに挑戦



片手にお手玉を2個持ち1個ずつ交互に上に上げます。1個はたえず空中に浮いているければいけません。私が私は何度も両方同時に上がってしまいとても苦戦しました。

## 両手ニツクリに挑戦



片手ニツクリの両手版  
アイツのお手玉が  
上がっておいけたと喜んで  
のお手玉を反対の手に  
送ります。この技は本器用な  
私にもできたのでうれしかったです。

実際にやってみると思っていたよりも難しく、ついでに夢中になってしまったりも楽しかったです。



# 12まとめ

- お手玉は新居浜が発展していく時代よりもずっと昔から日本だけがなく世界中で遊ばれていた。
- お手玉の呼び方や形, 中に入っているものは時代によって違っていて今も地域ごとで違うものもある。
- 「日本のお手玉の会」の人達は誰でも楽しく遊べるお手玉に注目して新居浜市から全国にお手玉を広める活動を始めた。
- 新居浜市で多く開催された「お手玉大会」ではお手玉を通して参加者同士の交流が盛んに行われていた。
- 高齢者が多い新居浜で「お手玉文化」が発展することで世代を超えた交流が活発になる。
- 「お手玉の里」になった新居浜では今ではお手玉はなくてはならない大切な文化になっていて子供から大人まで多くの人々に親しまれている。

# 13感想

私は小学生のときから新居浜市で「お手玉大会」が何度も開かれていたことは知っていたけれど今回お手玉と新居浜のつながりについて詳しく調べてみるとお手玉が新居浜にたぐさんよ影響を与えていることがわかり「お手玉の里新居浜」はいいなと思いました。私が今回調べていて心に残った言葉は「日本のお手玉の会」の目標「ぬくもりを届けたい手から心へです。お手玉は今までも若い世代の人ではなく高齢者の間で楽しかれていたというイメージがあったけれどそんなお手玉を高齢者から教えてもらい、一緒に楽しむことでお手玉（パズル）がわかる、と思うとお手玉の素晴らしさを改めて感じました。今回はコロナ禍と違ってこちらで実際に会場に行ける会をやることはできて良かったです。機会があればまた大会も会場で行ってみたいと思います。



# ～参考にした資料～

○ お手玉

日本のお手玉の会

○ お手玉へのぬい刺しを届けたい手からびんへ

〃

○ お手玉への湿巾を届けて20年笑顔のまじな

〃

○ お手玉遊びの教科書

〃

など